

まちみらい ニュース News

Vol.116

編集 公益財団法人まちみらい千代田
〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.chiyoda-days.jp

次回「ちよだ青空市」は 12月3日(水)10:00~15:00開催

問合せ NPO法人農商工連携サポートセンター
☎5259-8097
会場 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア・ウッドデッキ
地下鉄東西線竹橋駅3B出口より徒歩2分
http://www.npo-noshokorenkei.jp/index.html



ビジネス法律相談(無料) 次回は12月12日(金)です!

まちみらい千代田では、毎月第2金曜日に千代田区内の中小企業のためのビジネス法律相談を実施します。完全予約制となっていますので、まずは、お電話にてお問合わせください。
日時 毎月第2金曜日
①13時~②14時~③15時~※1回45分
場所 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア
申込
・お電話にて予約状況をご確認ください。
・実施日の2日前の正午までにご予約ください。
・相談内容は、ビジネス法律相談に限ります。
問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558

ちよだプラットフォームスクウェア 創立10周年記念講演会 開催報告

ちよだプラットフォームスクウェア10周年記念講演会が去る10月8日(水)に開催されました。前半では、長野県小布施町長を講師として「市町村サテライトオフィス東京勉強会」が行われました。また後半では、小泉純一郎元首相による講演「これからの日本」が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



※ちよだプラットフォームスクウェアとは…千代田区の地域特性を踏まえた「SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)まちづくり」を推進するための拠点施設で、300社を超えるSOHO事業者が入居しています。また「市町村サテライトオフィス」は、全国の市町村に東京での活動拠点として安価で提供している共同オフィスで、現在11の市町村が利用しています。

問合せ 企画総務グループ ☎3233-7556

株式会社フォトロン

代表取締役社長 布施信夫

●製造業 ●ユニーク部門
当社では、自社で開発・製造した高速度カメラ製品を国内外で販売。主な事例として、流体・内燃機関・溶接・切削分野などの基礎研究や、もの作り分野で貢献。お客様の声を活かした製品作りは、創業時からの変わらぬ姿勢です。
URL http://www.photron.co.jp/

株式会社アワーズ

代表取締役 栗津浜一

●小売業 ●ニュービジネス部門
当社は車や家電、古着のように携帯電話のリユースを行っています。不要になった携帯電話を買取り、販売しています。また、日本国中にリユースビジネスを広めるために、自社でシステムとネットワークを構築しています。
URL http://www.award-s.com/

株式会社ステラリンク

代表取締役社長 前田保宏

●ITサービス業 ●経営革新部門他
ステラは「星」、それは「誰もが持つ長所」や「輝く個性」、リンクは「紡ぐ」。人と人がつながり一緒に手に繋りをかけて形にすること。人が持つ異なる長所が繋がると、新たな価値やビジネスの実現する企業を目指している会社です。
URL http://www.stellarlink.co.jp/

株式会社バイリンガル・コネクションズ

代表取締役 水野雄太

●企業・個人の言語サポート業 ●国際貢献部門
2013年、来日観光客1,000万人突破。日本企業の海外売上比率上昇。英語の寺子屋は国際化に対応して売上を伸ばしたい千代田区の中小企業を徹底的に応援します。月50本のクラスに通い放題。英語力を伸ばし、売上に繋がります。
URL http://www.bilingual-connections.com/

千代田区マンション管理セミナー 12月20日(土)に開催決定!



▲前回のセミナーの様子

台風18号の影響により延期となっていた「マンション管理セミナー」を12月20日(土)に開催します。このセミナーは、マンションの管理組合や区分所有者、居住者の方などを対象に、マンション管理に役立つ知識を学んでいただくために、まちみらい千代田が行っているもので、今年のテーマは「実演模擬総会」です。

説明しますので、標準的な進行の手順等を確認できるほか、新しく役員になられた方には参考となる内容となっております。

テーマ「実演模擬総会」

日時 平成26年12月20日(土)
午後2時から午後4時まで
(午後1時30分開場)
場所 千代田区役所1階区民ホール(千代田区九段南1-2-1/東京メトロ・都営地下鉄九段下駅下車5分)
定員 約100名
申込み 直接会場へお越しください。

参加費 無料
協力 (一社)首都圏マンション管理士会都心支部、(公財)まちみらい千代田賛助会員
問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-13223

第12回福祉まつりに参加

10月11日(土)、千代田区役所で第12回福祉まつりが開催されました。天候にも恵まれ、昨年にもまして大勢の方々で大盛況でした。まちみらい千代田では、マンション支援に関するパンフレット等の配布と、(一社)首都圏マンション管理士会都心支部のマンション管理士によるマンション無料相談会を行いました。まちみらい千代田のブースでは、まちみらい千代田で発行しているマンション情報紙「マンションサポーターちよだ」や各種マンション支援制度に関するチラシを配布しました。また、昨年好評だった射的を行い、非常に多くの方に参加いただき、準備していた景品も午後2時前には全て無くなりました。

マンション無料相談会では、マンション管理士がブースに常駐し、「マンションの建設について」等の相談を受けました。まちみらい千代田では、普段からマンション管理士が窓口で常駐し、建物の維持管理や管理組合の運営、コミュニティ形成など様々な相談に無料で応じています。また、アドバイザーとしてマンション管理士を各マンションに派遣し、助言をする制度もあります。ぜひ、お気軽にご利用ください。

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-13223

『第7回千代田ビジネス大賞』 エントリー企業紹介(第1回)

まちみらい千代田では、中小企業の成長発展を支援することを目的として、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる千代田区の企業を「千代田ビジネス大賞」にて表彰しています。

今月号より第7回千代田ビジネス大賞のエントリー企業を順次紙面で紹介(原稿提出順)します。

表彰式は平成27年2月下旬、ちよだプラットフォームスクウェアにて行います。各賞受賞企業は当日の発表となります。

受賞した企業は、まちみらいニュース紙面やホームページ「千代田デイズ」で紹介するとともに、企業広告を無料で掲載します。

また、企業の取組みや受賞の評価ポイント、商品やサービス、社内の写真などの紹介を掲載した「表彰企業パンフレット」も作成します。

問合せ 産業まちづくりグループ
☎3233-17558

株式会社マイデスク

代表取締役 松野広志

●情報システムサービス業 ●ニュービジネス部門
(株)マイデスクの事業は、オンライン学習システム「edulio」の開発・運営です。これまで、企業内研修やカルチャースクールをはじめ学校(大学、塾、資格、語学)など300社への導入実績があります。
URL http://www.edulio.com/

株式会社フォトロン

代表取締役社長 布施信夫

●製造業 ●ユニーク部門
当社では、自社で開発・製造した高速度カメラ製品を国内外で販売。主な事例として、流体・内燃機関・溶接・切削分野などの基礎研究や、もの作り分野で貢献。お客様の声を活かした製品作りは、創業時からの変わらぬ姿勢です。
URL http://www.photron.co.jp/

株式会社アワーズ

代表取締役 栗津浜一

●小売業 ●ニュービジネス部門
当社は車や家電、古着のように携帯電話のリユースを行っています。不要になった携帯電話を買取り、販売しています。また、日本国中にリユースビジネスを広めるために、自社でシステムとネットワークを構築しています。
URL http://www.award-s.com/

株式会社ステラリンク

代表取締役社長 前田保宏

●ITサービス業 ●経営革新部門他
ステラは「星」、それは「誰もが持つ長所」や「輝く個性」、リンクは「紡ぐ」。人と人がつながり一緒に手に繋りをかけて形にすること。人が持つ異なる長所が繋がると、新たな価値やビジネスの実現する企業を目指している会社です。
URL http://www.stellarlink.co.jp/

株式会社バイリンガル・コネクションズ

代表取締役 水野雄太

●企業・個人の言語サポート業 ●国際貢献部門
2013年、来日観光客1,000万人突破。日本企業の海外売上比率上昇。英語の寺子屋は国際化に対応して売上を伸ばしたい千代田区の中小企業を徹底的に応援します。月50本のクラスに通い放題。英語力を伸ばし、売上に繋がります。
URL http://www.bilingual-connections.com/

マンション相談 事例紹介

まちみらい千代田では、マンション管理士(マンション管理に関する国家資格の専門家)が無料でご相談に応じています。

※実際の相談内容をもとに再構成しています

マンション無料相談窓口開設中!

日時 月曜日～金曜日
(土日祝を除く)
午前9時から午後5時
(受付は4時まで)

場所 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスク
エア4階

予約 事前に日時・内容をお知らせください。よりの確
なご相談ができます。な
お、個人情報公開され
ることはありません。

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223

相談内容①

築25年、50戸のマンションの理事長である。最近、犬や猫などを飼う居住者が増えてきた。マンションができた当初から、飼育してもよい動物は金魚や小鳥などに限ると管理規約で決めているが、高齢者の一人住まいの人など、分かっているだけでも5戸で犬、猫をペットにしている。苦情を言う人もいるため管理組合として何らかの対策をとる必要があると思うが、理事会でも意見が分かれ簡単には決まりそうもない。どうしたら良いか?

回答

25年前は、ほとんどのマンションの管理規約や使用細則で、他の居住者の迷惑になり、汚れの原因になる事が考えられる事から、ペット禁止を決めていました。その後、ペットとして犬などを飼う人が増えるようになったため、新築マンションのなかにはペット用の足洗い場などを設け、条件付きで飼育を認めるケースも出始めました。既存のマンションでも、飼育者のペット倶楽部がルールを定め、お互いに注意する仕組みなどをつくり飼育するところもあります。高齢者の居住者が増えるとともにペットについての考え方が変わってきていることは事実です。

しかし、管理規約で禁止していることを無視してペットを飼う状態を黙認すると、他の問題でもルール違反を助長することにつながります。マンション内で意見対立を招かないように対応する事が望ましいです。

まず、管理規約でペット飼育が禁止されていることを明示したうえで、全居住者を対象にアンケートを行い、意見を聞いてみる事も大切です。その際、ペット飼育を一律に認めるのか、認めないのかではなく、いくつかの選択肢を示すなど、皆さんが知恵を出し合えるような工夫が必要です。

相談内容②

マンションに住み始めて2年目だが、管理組合から居住者名簿を作成したいので、家族構成などを記入してほしいと用紙を配付された。しかし、家族の事などを知られたくないため提出をしないでいたら、再三催促された。個人情報の流出などの事件もあり、プライバシーを守りたいと思っている。居住者名簿はどうしても必要なものなのか。

回答

マンションの居住者名簿は、災害や事故などが発生したときに迅速に対応するためにも作成する必要がありますし、居住者は作成に協力する義務があります。マンション購入時や入居時に、世帯主の方のお名前や連絡先を提出されているはずですから、これをもとに管理組合が居住者名簿を作成することもできます。しかし、最新の情報を掲載するために居住者の皆さんに用紙を配ったものだと思います。問題は、作成した名簿の保管方法や、印刷し

て居住者の皆さんに配付するのかどうかです。名簿を鍵のかかるロッカー等に保管し、災害時など緊急時に理事長等の限られた人だけが見ることができるようにする方法もあります。この場合、災害発生時に素早く使えるようにする工夫も必要です。また、個人情報の流出を防ぐために、表紙にナンバーを付けて配付することも考えられます。

ただ名簿の作成に協力しないということではなく、管理組合の役員などに心配な事や管理方法などを確かめ、納得できるまで話し合う事が必要です。

マンション相談員連載コラム

30年以内に70%の確率で首都直下型地震が発生すると言われています。いざ大地震が発生した時にどのような対応すればよいのか、マンションでの災害発生時の行動を想定できているでしょうか。まちみらい千代田が実施した「千代田区分譲マンション実態調査」(平成25年度)によれば、大地震等災害発生時に管理組合として対応するマニュアルができていないのはわずか29%となっています。

東日本大震災を思い起こしてみましよう。金曜日の午後に発生した地震で首都圏の交通機関がマヒしたため帰宅困難者が多数発生し、実際に帰宅

マンション よ・も・や・ま・話

第2回-災害とマンションコミュニティ-

生時には無理に帰宅せず、安全ならば事業所に留まるように方針転換するものです。事業所には水や食料、毛布などの備蓄を配備し、従業員の安全を確保することとなっています。こうした一連の動きはマンション居住者にも影響し、自宅に帰れない人が多数発生することになります。言い換えると、マンションに

残った人だけで災害時の対応をしなければならぬことになるのです。千代田区では、ひとり暮らし高齢者や配慮が必要な方のために「災害時要援護者対策」を、通勤・通学者等のために「帰宅困難者対策」を、それぞれ強化しています。しか

◆次回は「植栽とマンション管理」
飯田勝啓

し災害時に想定される様々な課題の解決には、行政だけでなく居住者がお互いに助け合う気持ちが必要不可欠です。マンション内で助け合いができる体制を「協働」と言いますが、この体制は日頃からマンション内でコミュニティができていないと機能しません。だからこそ災害対応をきつかけにコミュニティを考えることが重要なのです。

各分野で、100以上の企業や団体と協働して、毎年10万人の子ども・若者を対象とした活動をしています。



▲移動式子ども基地

「千代田まちづくりサポーター」は、自主的な市民まちづくり活動を応援する事業として、平成10年から14年間、計94グループに助成を行いました。平成27年春の事業再開に向けて、毎月、過去の助成グループの活動事例を紹介していきます。

成13年、子どもたちとまちで学び、まちで遊ぶ学生サークル「子どもと一緒にデザインしよう会」として、千代田区の神田地域を中心に活動を開始し、その後、区内全域に活動エリアを広げました。その活動は、平成13年、第4回「千代田まちづくりサポーター」でサポーター大賞団体として認められました。

星野諭(ほしののぶ)代表 「まちづくりサポーターを受けてから神田にある一軒の木造長屋を借りて、『子ども基地』という子どもたちの遊び場を作りました。2階には学生たちが居住し、1階は放課後に子どもたちが遊びに来られる

よう、千代田区内の学生が週ごとに交代制で運営しました。しかし2年後、この長屋が取り壊されることになり、逆転の発想で、まち全体を遊び場に出来る「移動式子ども基地」を開発しました。これは様々な遊具を満載したトラックで、現代版紙芝居のようにまち全体を遊び場として、遊びの広場を、という試みです。」

これらの活動を基盤として、平成20年、「コドモ・ワカモノまちing」をスタートしました。現在は、千代田区外神田を本拠地として、全国各地で、遊び・教育・環境・防災・建築・福祉・食・まちづくりなどの

団体名 特定非営利活動法人
コドモ・ワカモノまちing
代表理事 星野諭
所在地 〒101-0021
千代田区外神田6丁目11-14
3331 Arts Chiyoda 101
電話/FAX ☎6806-0012
ホームページ <http://www.k-w-m.jp/>
NPO法人格取得日 平成20年10月31日

連載 千代田まちづくりサポーター(第2回)

NPO法人コドモ・ワカモノまちing